

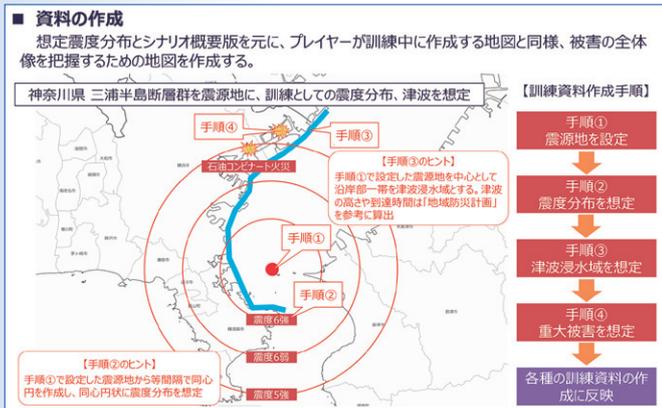


(2) 図上訓練マニュアル別添資料

「別添資料（訓練資料作成の手引き）」では、(1)「本編」をもとに作成した詳細な訓練実施計画、訓練シナリオ（詳細）、被害想定、状況付与一覧、部隊進出状況、訓練評価表など実際の訓練で使用する資料のひな形と作成方法を記載しています。

（別添資料に記載されている項目）

- ① 訓練の実施計画書
- ② 被害想定一覧表（人的・物的被害）
被害想定一覧表（社会インフラ被害）
被害想定一覧表（交通インフラ被害）
- ③ 重大被害事象推移表
- ④ 状況付与一覧表
- ⑤ 部隊進出状況一覧表
- ⑥ 訓練評価表



（別添資料）被害想定地図の作成手順

また、別添資料では、図上訓練において活発な活動を行うために用意する重要被害事象の作成方法や状況付与指示書を効率良く作成する方法、図上訓練の臨場感を演出するためのニューススライドの作成方法などについて、解説した参考資料を添付しています。

■ 石油コンビナート火災の特徴

- 石油コンビナート火災のシナリオの特徴は、通常の消防部隊の対応を超えること、つまりより専門的な消防部隊の応援を要請が必要となることである。特に、エネルギー・産業基盤災害即応部隊の応援要請につながることである。
- また、各都道府県大隊においても、特殊災害小隊としていわゆる3点セット（大型化学消防車、大型高所放水車、泡原液搬送車）を保有しているため、部隊移動や増隊を検討することにつながる。
- さらに、全面火災に発展するおそれがある場合には、大容量泡放射システムの手配など応援要請及び運用が期待される。
- 時間の経過とともに、被害の規模が大きくなることから、迅速な意思決定と情報提供が求められるため、時間の制約のある訓練の中でも比較的成果を出しやすい災害である。

（被害の拡大のイメージ）



（別添資料）重要被害事象の作成



（別添資料）ニューススライドの作成

3. おわりに

緊急消防援助隊の更なる充実強化を図るためには、緊急消防援助隊の練度向上とともに、被災地の都道府県及び消防本部の受援についても練度向上が必要不可欠です。

本図上訓練マニュアルは、ブロック訓練を開催する都道府県が、訓練を企画・実施するために必要なノウハウを標準化することにより、開催都道府県の負担軽減を図るとともに、訓練の高度化・高頻度化を図るため作成したものです。ブロック訓練のみならず、あらゆる機会を捉えて図上訓練マニュアルを積極的に活用し、都道府県及び消防本部の受援力、調整力、連携力の更なる強化を図っていただきますようお願いいたします。

問合わせ先

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室
TEL: 03-5253-7527（直通）